

～中央支部 お盆休み～
8月14日・15日・16日



です。

中央支部

発行所

三重県建設労働組合
中央支部

津市久居緑が丘町一丁目5番地4
電話 (059) 252-2068

印刷所 三宅印刷(株)

今回は関ドライブインで乗降していただけます
亀山・鈴鹿・四日市など北勢の方も是非ご参加ください

組合バス旅行のお知らせ

灘の酒蔵見学
南京町(中華街)散策
老舗レストラン「西村屋たじま路」でステーキランチ
ハーバーランドでお買い物

【日程】平成29年9月17日(日)

【料金】
大人：7,500円(組合員)
8,500円(組合員外)
子供：(小学生以下)
3,500円(組合員の子)
4,000円(上記以外)
※組合員にはその家族を含みます。
※子供料金については、お食事の内容により異なります。

★ご希望の方は、支部へ電話連絡の上、料金を振込が窓口でお支払下さい。お支払いが確認できた方から、受付となります。

★定員35名

★8月31日(木)締切 【連絡先】中央支部 059-252-2068

【振込口座】
東海労働会連 津支部
(口座)2954119
三重県建設労働組合中央支部
※振込手数料はご本人様負担をお願いします。

支部労働災害対策会議開催

JFEを訪れ 工場内の安全対策を学ぶ



7月5日支部にて労働災害対策会議を、支部社保労対部ら8名と、本部より村田執行委員を招き開催致しました。昨年支部組合員による労働災害事件数は27件と非常に多く、労対部では緊急の会議、パトロール等を行い組合員の皆さんに注意喚起を促してきました。



特に昨年は、夏場の熱中症が原因で起こる災害発生率が非常に高く、今年は7月より対策会議を行い未然防止に努めています。会議では、今年(6月末まで)の支部組合員による労働災害事件数が、11件と発表され今後起こりうる熱中症による労働災害の対策が検討されました。

瑕疵担保保険は、2000年より引き渡された新築住宅(完成から引き渡しまで1年以内)の請負人・売主の全に対して、引き渡しから10年間瑕疵担保責任が義務づけられています。「ゆうゆう住宅」は、住宅保証機構が認可する特定団体(全建総連)が、保証機構の設計施工基準に上乗せ基準を設けて建てられる住宅で、一般住宅よりも保険料が安くご利用頂けます。

支部窓口で
手続きできます



住宅瑕疵担保保険
「ゆうゆう住宅」を
ご利用下さい

	保険料等 (保険料 + 現場検査手数料)	
	ゆうゆう住宅	一般住宅
住宅の床面積		
100㎡未満	¥53,890-	¥63,560-
100㎡以上125㎡未満	¥57,570-	¥70,230-
125㎡以上150㎡未満	¥64,970-	¥83,640-
150㎡以上180㎡未満	¥70,200-	¥92,730-
180㎡以上	¥80,490-	¥111,270-

※ゆうゆう住宅は、組合手数料 (15,000円を含む)



午後からは、JFE日本鋼管津工場を訪れ、大手企業での安全対策や災害状況について学びました。

岐阜県にて
全国青協交流集会開催
7月9日・10日
支部より谷口青年部長が参加

7月9日、10日と岐阜市にて全国青協交流集会が開催され、支部より谷口青年部長が参加しました。開会の挨拶の後、中央情勢報告と3県連より青年部活動の経過報告が行われました。その後、今回の交流企画である全国青協のうた「4番」をつくる企画が行われ、各班

によって青年らしい活発な意見を出し合いました。2日目は、長良川鶴飼いミュージアムを訪れ伝統文化に触れました。



中央支部
建労くん

民進党 松田衆議院議員へ 更なる消費税増税反対を訴える

7月20日、民進党の松田衆議院議員へさらなる消費税増税を反対する要請行動を津支部、本部合同で行い中央支部より稲垣執行委員長、宇陀副委員長、米津書記長の3名が参加しました。

消費税8%への増税から約3年が経過し、景気回復を前提とした消費税増税でしたが私達国民に景気回復の実感は一切なく、物価の上昇により日常生活に対する税の重みが増す深刻な状況です。さらに追い打ちをかけるように、国は平成31年に景気に関わらず消費税10%へと引き上げる方針です。

建設業では増税後、消費税や資材高騰を転嫁できない小零細事業者は苦しみ、急激に悪化した事業の継続を断念する建設業者が続出し、建設に従事する労働力を外注化することに拍車がかかります。

こうした状況の中、地元国会議員である松田衆議院議員へ消費税の更なる増税反対を要請し、現在の建設業における状況を十分にご理解頂きました。



大切な家族と、 あなた自身の未来のために



婦人科健診について ご意見をお寄せください

婦人科の病気は、症状がなく自分で気づかない場合も多くあります。その中でも乳がん、子宮がんは近年増加傾向にあり、小林麻央さんが若くして亡くなられたのは記憶に新しいところです。

三建国保では、婦人科健診の受診を推進しておりますが、支部により実施状況が異なり、現在、中央支部では実施されておられません。今後は中央支部でも婦人科健診を実施していきたいと考えておりますが、健診バスの手配の都合上、最低でも30名以上の受診希望者がいないと実施することはできません。そこで、計画の実現化に向け組合員の皆さまの意見をお聞かせください。

【婦人科健診受診項目】

- ・骨密度計測
 - ・子宮がん
 - ・乳がん（エコーかマンモグラフィー）
- ※マンモグラフィーは40歳以上のみ選択可

【費用】 ※ 実施が決定したら、負担金額についても検討予定です。

- ・組合員本人 無料
- ・三建国保家族 2,000円
- ・上記以外（エコー）15,552円
- （マンモ）18,576円

【会場】

- ・中央支部

【所要時間】

- ・一人当たり 20分～30分程度



出来る限り、女性スタッフが乗車するように依頼はしております。また、特殊車両ですので台数が少なく日程についてはこちらから指定することはできません。バス健診とは医療機関が異なるため同日の実施は不可能です。

皆さまの意見を拝聴し、早ければ今年度の定期大会での決議を目標としています。

三建国保臨時組合会開催

7月18日メッセウイングみえにて三建国保臨時組合会が開催され、県内全ての支部より69名の議員が参加し、中央支部からは6名が参加しました。

国は、社会保険未加入対策の強化や社会保険への予算を大幅に削減し、市町村国保の単一化が進む三重県内に於いても、平成30年を目途に進められています。

冒頭の挨拶で川川執行委員長は、「三建国保は私達の健康と命を守る大切な制度」と話し今後も健全な運営を行う為、組合員全員で団結し守っていきましょうと述べられました。

次に、本部水谷書記長より議案の報告と提案が行われた後、本部会計監査である中央支部組合員の川本さんより会計監査報告が行われ、全員一致で承認されました。

また、午後からは全建総連賃対部長の小川部長より「社会保険未加入対策を巡る情勢と標準見積書の活用について」講演を頂き、従業員を雇われた場合の福利厚生に当たる、必要経費を含んだ標準見積書の作成方法や、一人親方の必要経費の算出について学びました。

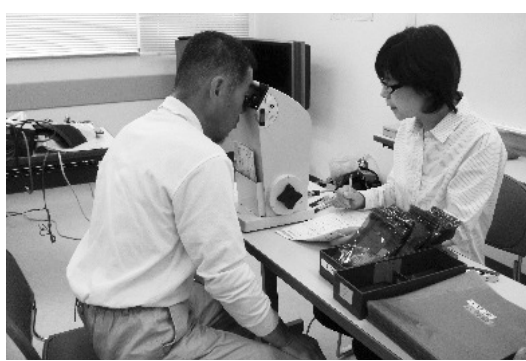


今年1回目のバス健診開催 60名が受診する

7月11日（火）津市高茶屋市民センターにて三建国保バス健診が行われ60名の組合員が受診されました。

昨年までは久居の体育館で行っていましたが、今年から高茶屋市民センターに会場を変更いたしました。施設の開場時間が遅くなった分、皆様

にはご迷惑をお掛けしましたが、明るく空調の効いたロビーでお待ちいただく事ができ受診者の方々には好評でした。次回は、9月5日（火）です。まだ受診されていない方は、申し込み用紙にご記入いただき、支部へご提出下さい。尚、バス健診以外に建労が提携している病院でも人間ドックが受けられます。是非ご利用ください。



バス健診日程

9月5日（火）
空あり 受付中

10月10日（火）
空あり 受付中